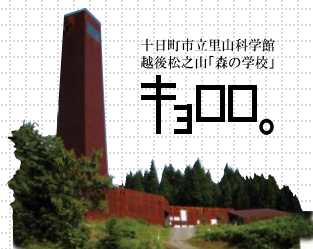


地域コミュニティの ハブとしての 博物館



十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロ

福原諭祐（館長）・〇小林誠（学芸員）

〇発表者

日本有数の豪雪地帯

我が家の、ある朝。



▲ 一晩に115cmの降雪 (2010年1月14日)

日本有数の豪雪が育んだ、ブナ林と棚田の里



▲美人林（ブナ二次林）



▲星峠の棚田

提供：十日町市観光協会



多雪地の里山の生物多様性

日本遺産「究極の雪国とおかまち -真説！豪雪地ものがたり-」

※2020年（令和2年）認定



日本遺産「究極の雪国とおかまち-真説！豪雪地ものがたり-」

大地の芸術祭 の 拠点施設 として 誕生した参加体験型の自然科学館



▼旧松之山町の鳥
アカショウビン



十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロ

- ▶ 十日町市立（公立）、2003年開館
- ▶ 里山の生物多様性をテーマとした**参加体験型博物館**
- ▶ **大地の芸術祭**の作品
- ▶ 周辺のフィールド「キョロロの森」は**生物多様性保全上重要な里地里山**に選定



▲志賀外助蝶コレクション

▼豊富な自然体験プログラム



「地域研究」を「地域づくり」につなげる

＼サイエンスは身近にある／

住民皆科学者

住民は地域に卓越した科学者。
自分たちが地域をつくる主役。



＼博物館の主役はキミだ！／

等身大の科学

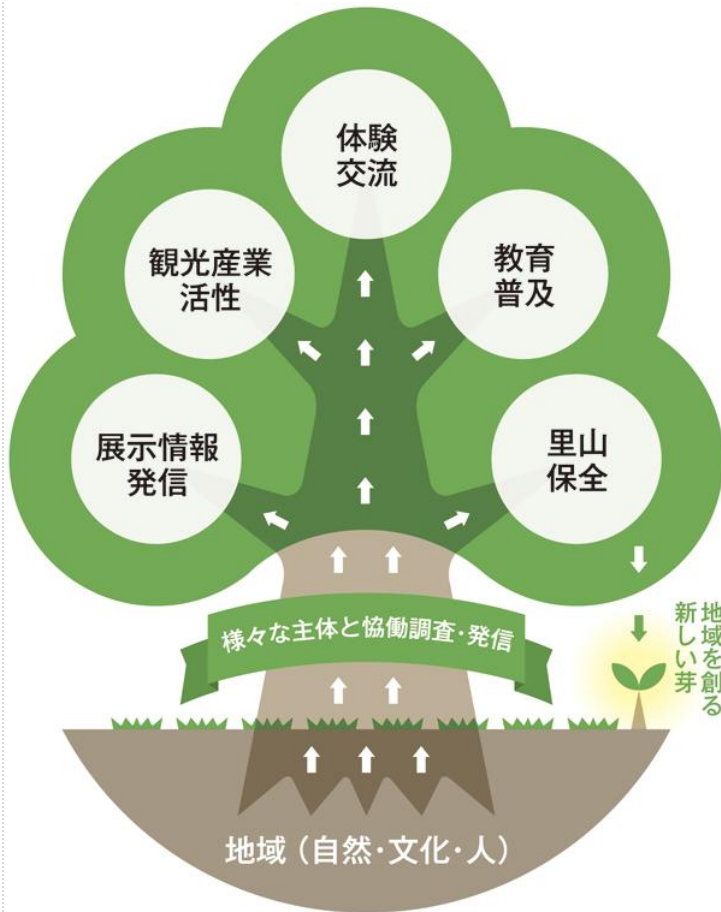
地域住民の等身大の「知」
「視点」「探究心」を、博物
館活動に有機的に結び付ける。



＼あたりまえのものが宝物／

地域全体博物館

地域の自然や文化、そこに暮らす
人々など地域資源を全て展示物と
捉え、地域全体を博物館へ。



▶ 博物館が地域コミュニティのハブとなり
「地域を創るサイエンス」を实践

材料は「あるもの」と「なかったもの」

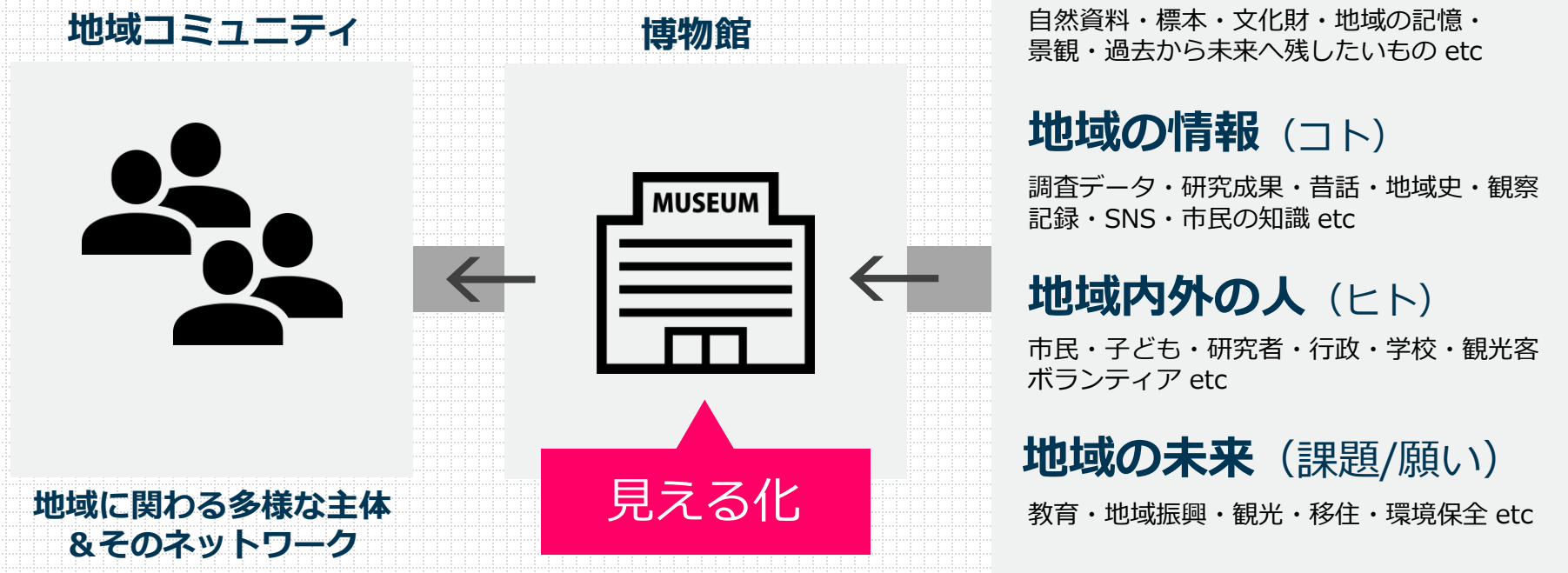


里山の自然を活かした地域づくりにつなげる

▶ 「地域の価値・魅力」を博物館で「見える化」

Q

博物館は何をつなげているのか？



- ▶ 地域のモノ・コト・ヒト・課題/願いが集まる場所
- ▶ 地域で唯一「過去・現在・未来」をつなげる施設

▶ 博物館は 集める場所 + つなぐ場所

里山体験プログラム

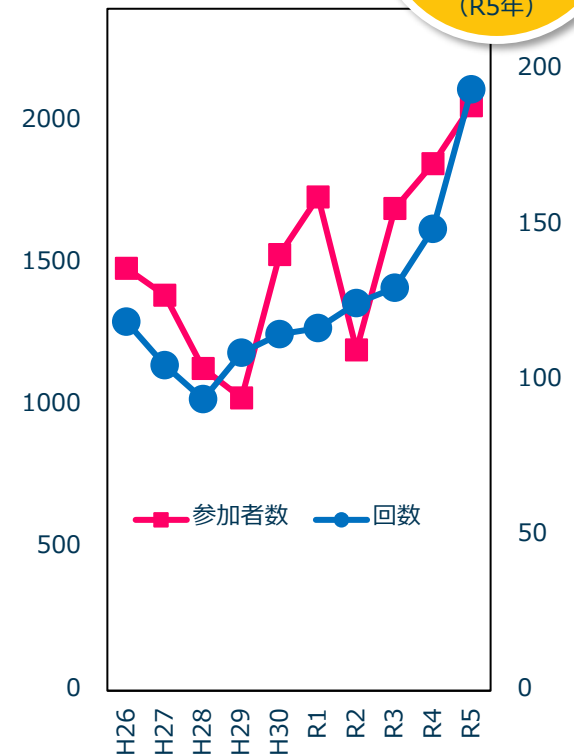


地域の自然・文化を体験できる
多彩な里山体験プログラムを通年提供



講師：学芸員・友の会
会員・地元ガイド etc

延べ
194回
2059名
(R5年)



市民科学：市民参加型生き物調査

市民参加型生き物調査：市民参加で自然を記録する・探究する

テーマ数

20種類

(~R8年)



▲花ごよみしらべ



▲雪虫しらべ



▲こども探鳥会

- ▶開館以来、学芸スタッフや地域団体の調査研究活動をイベント化（毎週末）
- ▶博物館の地域研究機能を市民参画で継続
- ▶ファン化・リピーター層の受け皿



▲川虫しらべ



▲ガガンボしらべ

＼積雪期もやります！／

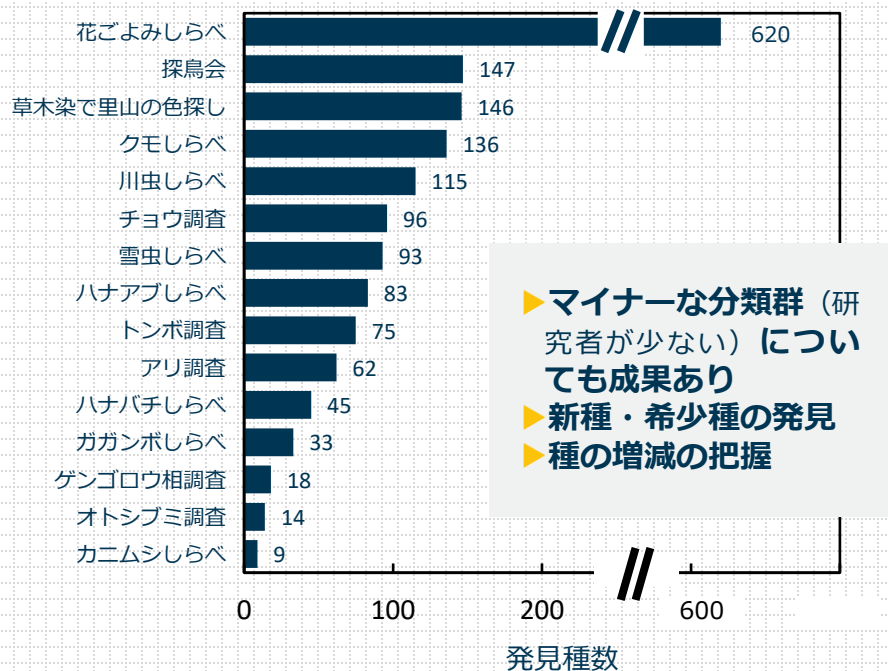
＼子ども向け／

＼様々な環境で／

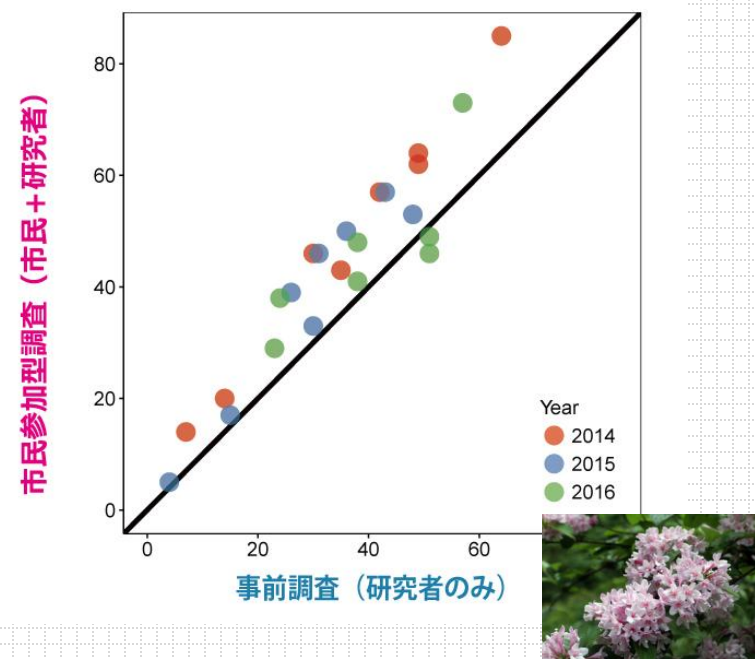
＼マイナー種を対象／

多くの目で地域の自然を調べる

1000種を超える生物種を 市民参加型調査で記載



市民参加型調査の方が、 発見種数が増加した



▶地域の生物多様性の理解に大きく貢献

▶多くの目によるデータの量・質の向上

市民科学による新・珍種発見！

新種



ガガンボしらべ (2023年)

▲ *Rhipidia (Eurhipidia) honshuensis* Kato,
2024 (ヒメガガンボ科) 加藤大智氏提供

- ▶ 博物館は新発見を生み出せる場所という意識醸成 (例：プレスリリース・報道)
- ▶ 「博物館へ持っていけば分かる」という安心感
- ▶ 参加者のモチベーション向上、参加継続の動機付け

本州
初記録



クモしらべ (2016年～)

▲ *Tusukuru tamburinus*
北海道以南の地域での新記録。



身近な場所から
珍カビ発見！



▲ 展示でも紹介

県内
初記録



スプロディニエラ・ウンベラータ (*Sporodiniella umbellata* Boedijn)

【報道】珍種のカビ、自由研究で散策中の小学生が発見 新潟
(毎日新聞) - Yahoo!ニュース

集落・地域主体的な調査活動支援

市民参加型「モニタリング調査」「生物多様性保全活動」

十日町市松代 小荒戸集落



十日町市松之山 中立山集落



十日町市松之山 中尾集落



十日町市松之山 上川手集落



- ▶ まねできる調査・記録・共有スキームづくり（普及化）
- ▶ 調査の主役は地域住民
- ▶ 博物館活動の地域づくりへの波及

■ 企画展「みんなでみつけた1322種の生き物展」 (2022年春季)

地域コミュニティが参加する展示

【常設展】 私のたからものBOX（約200個の引き出し）



地域住民が「**地域の自慢したいもの**」
を持ち寄った200の引き出し。

▶ 里山の知の多様性を、地域住民の視点で発信する。

市民科学の成果を冊子・webで「見える化」

ガイドブック・パンフレット・HPで成果を公表&普及



- ▶ 館内で無料配布
- ▶ HPで公開（オンラインミュージアム）
- ▶ 市内教育施設・図書館に配布

【最新発行】
松之山のハナアブ図鑑 ▶



▶ 身近な生物多様性への関心・意識の向上を促進

地域コミュニティと復活・継承する

途絶えた伝統知の 復活と継承



- ▶ 体験イベント化
- ▶ 地域住民と体験者の交流を通して継承

伝統知の 文化観光コンテンツ化



- ▶ 松之山温泉街で始まった
「花餅かざり」



和泉屋



野本旅館



松之山温泉
里山ビジターセンター



旅館ちとせ

- ▶ まねできる仕組みづくり
- ▶ 各旅館が主役となった発信

▶ 地域コミュニティと伝統知をつなぐ

地域コミュニティに発信・共有する

＼魅力を知り・伝える、私たちの活動／

市民里山学会 (2009年～)

- ▶ 市民が調査研究・発信の主役の成果報告会
- ▶ 年1回開催の成果を共有する場
- ▶ 学生・民間団体・研究者・行政が参加



発表題目数

88件

(～R7年)



- ▶ 自然の特徴・課題を自分ごと、みんなごとで考える

地域コミュニティに発信・共有する

市民科学の成果を発信・共有：こども里山学会

こども里山学会（2003年～現在休止中）

- ▶ **総合的学習、課外活動の成果を発表**（寸劇、クイズなど）
- ▶ **他校の発表を聞く、質問する**



▶ **地域の子どもたちが主役の成果発表会**

地域外コミュニティに発信・共有する

「発信！わたしたちの地域自慢」
学習成果発表ブース展 (2017年～)

- ▶ 総合的学習、課外活動の成果を展示物にまとめる
- ▶ キョロコの来館者に児童が調べた成果を発信する

発信！わたしたちの
地域自慢
宝物がいっぱい！

十日町市の子もたちが、
地域の自然や文化について、
1年間学習した成果を、
発信します！

期間：令和8年4月1日(水)から令和8年7月12日(日)
協力：松代小学校1・2年、渡辺がなた・ひなた(松代小学校)、小中一貫校まつのやま学園1～9年、
まつのやま学園自然科学部、松代中学校1～3年、松代中学校3年

※期間中に展示入れ替えを行うため、学習成果の一部が展示されていないことがあります。予めご了承ください。



- ▶ 学校の学びを学校の中だけで終わらせず、
地域社会と共有する

市民科学の成果が ○○ につながった

▶ 文化観光コンテンツとして商品化



- ▶ 市民参加型調査の探究スキームを商品化
- ▶ 冬季のオリジナリティの高い体験提供



▶ 地域外就学児童（移住者）



- ▶ 市民参加型調査のコアリピーター
- ▶ 自然科学部（博学連携）への入部が地域外就学の動機

▶ 博物館の特徴的な体験コンテンツ

につながった



▶ 特徴的な教育資源

につながった

地域コミュニティと地域の自然を守る

市民参加型「モニタリング調査」「生物多様性保全活動」



▲池の生き物大調査（森の学校キョロロ友の会）



▲ビオトープ管理実習
（国際自然環境アウトドア専門学校）



▲希少な野鳥の保護活動
（松之山野鳥愛護会）

- ▶地域コミュニティと課題を共有し、研究成果を保全活動にフィードバック
- ▶地域コミュニティによる地域づくりへの実践・参画の場として機能



▲ブナの森づくり
（ブナの里創り実行委員会・緑の少年団）



▲ザリガニ搜索隊
（森の学校キョロロ友の会）

コミュニティの創出・強化



▶ モリアオガエルの池復活作戦 (友の会主催)



▼モリアオガエル

アメリカザリガニ 増加中
池の生態系が
ピンチです!

「モリアオガエルの池復活作戦」に、あなたの力を貸してください。

- 外来生物のアメリカザリガニは、他の水生生物を捕食し、水草を切ってしまう。
- キョロロ周辺では2019年頃に侵入を捕捉。2025年には、「モリアオガエルの池」に生息していた希少な水草フトヒルムシロ (新潟県準絶滅危惧) やイヌタヌキモ (県：絶滅危惧Ⅱ類/準絶滅危惧) が激減し、トンボなど水草を利用する他の生き物も減少傾向にあります。
- キョロロとキョロロの会は、かつての豊かな水辺生態系を取り戻すため力を尽くしていますが、まだまだ人手が足りません。



アメリカザリガニが 侵入する前 の池

- 水草が豊富
- 多くの水生生物が生息



アメリカザリガニが 侵入した後 の池

- 水草が消失
- 水が濁り、水生生物が激減

支援の方法は3種類!

- ① 有償ボランティアとして協力する
作業時間に応じて謝金をお支払いします。
- ② 友の会の活動をカンパで支える
受付の現金箱またはお振込みにて。
主にボランティアの方への謝金として活用させていただきます。
- ③ キョロロの保全イベントに参加する
5月～11月の第3土曜日の「モリアオガエルの池復活作戦」に参加。

詳しくはHPで▼



〒100-0001 東京都千代田区千代田
千代田市立東山小学校
蔵書庫2F「森の学校」
キョロロ友の会

お願いします

① ボランティア募集 ▶ 県外からも参加あり

ボランティアの声

- ・「昔の池の姿を知っている。復活に協力したい」

② 保全イベント参加者募集 ▶ 参加者増加傾向

参加者の声

- ・「子どもの頃通っていた場所の役に立ちたい」
- ・「地域の自然の状況が気になる」

③ 活動への資金援助 ▶ 目標額達成

支援者の声

- ・「遠方で参加ができないが支援したい」
- ・「活動に共感する」

▶ 関心・共感・対話がコミュニティの創出・強化につながった

博物館育ちの市民が生まれ続ける



授業にとどまらず、普段の生活の一部として
学ぶことの楽しさや知的好奇心を持ち続ける

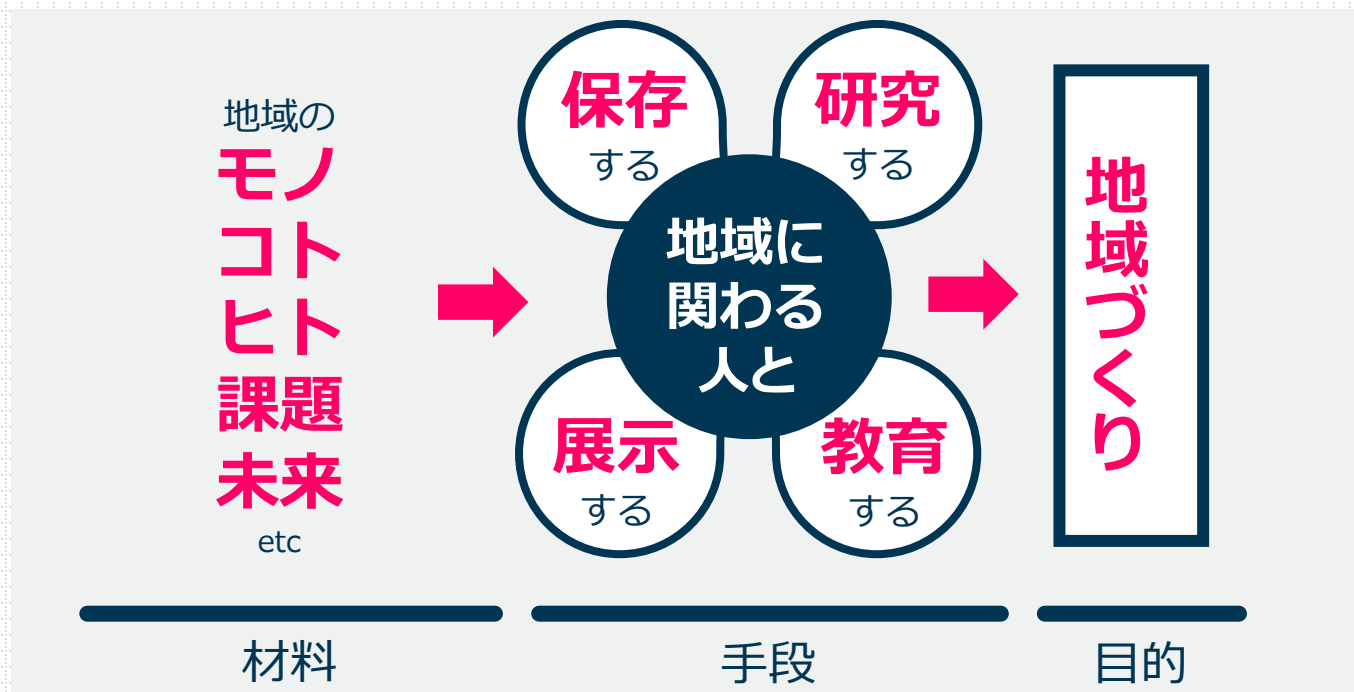
▶ 博物館育ちの市民の成長



▶ 博物館・地域の自然や文化に対する強力な理解者

Q

博物館の主役って誰だろう？



地域を**自分ゴト・みんなゴト・未来ゴト**
で考える場所や仕組みを博物館が創出

= 人が主役

人が主役だからこそ博物館は地域のアイデンティティを育める

「関係性」づくり

ー 地域博物館が地域コミュニティのハブになるためにー

- ▶ 地域コミュニティは地域資源を介した関係性から生まれ・育まれる
- ▶ 博物館は地域の資源や課題を媒介として、人と人・地域・未来をつないでいる
- ▶ 関係性が地域の【価値】を生み出す
- ▶ だからこそ、博物館は地域コミュニティのハブとなり得る
- ▶ 博物館は「集める場所」 + 「つなぐ場所」



標本は自然を未来へ伝える。人は地域の未来をつくる。
博物館は、その両方を未来へつなぐ場所でありたい。

改正博物館法 博物館登録【登録博物館】 (2026.3.5)

【登録館名】

十日町市立里山科学館
越後松之山「森の学校」キヨロク

【登録種別】 登録博物館
(館種：科学)

【登録年月日】 令和8年3月5日

【登録番号】 新潟県 第36号



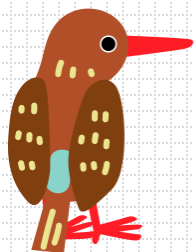
／博物館登録記念事業／

**100年後の市民に伝えたい！
十日町市の自慢の自然探し**

▶ 2026年の「今」を、100年後へ。100年後の市民に向けたメッセージと共に標本を保管。



過去・現在・未来をつなぐ博物館活動を、これからも地域とともに進めてまいります！



十日町市立里山科学館
越後松之山「森の学校」

キョロロ。

ご清聴、ありがとうございました。

<http://www.matsunoyama.com/kyororo/>

検 索

キョロロ

